

# 支援業務課 NEWS

## 生越 利男氏 畜産局長賞を受賞

「夫婦で築く低コスト  
養豚経営」を事例  
発表し畜産局長賞  
を受賞する!!



畜産局長賞受賞の生越利男・良子さん御夫妻

去る10月13日・中央畜産会主催の平成12年度全国優良畜産経営管理技術発表会が「虎ノ門パストラル」において開催され、全国から選定された畜産農家、法人経営の8事例が発表を行った。

本県からは中小家畜部門で養豚経営の生越利男氏(十日町市下条)が見事優秀事例に選ばれ、畜産局長賞を受賞した。

～生越養豚場の経営特徴～

- ①飼養管理は基本技術に忠実である。
- ②畜舎・施設は機能的で省力化が図られている。
- ③正確な記帳と経営管理で低コスト生産が実行されている。
- ④自己資本比率が高く経営が安定している。
- ⑤グループで生産資材の共同購入を行っている。
- ⑥環境保全に努め、堆きゅう肥は管内の畑作農家に供給されている。等が高く評価された。

なお受賞者は次の通り。

### ◎大家畜部門

農林大臣賞:(最優秀)

酪農経営 千葉県 川名 正幸

畜産局長賞:(優秀)

肉用牛経営 静岡県 峯野 孝  
 佐賀県 瀧上 吉隆  
 宮城県 黒木 輝也

### ◎中小家畜部門

農林大臣賞:(最優秀)

養鶏経営 石川県 北栄産業  
(代表:市村 栄宗)

畜産局長賞:(優秀)

養豚経営 新潟県 生越 利男  
 岡山県 黒藪 光広  
 養鶏経営 栃木県 三田農園  
 (代表:三田 梯二)

平成12年度

## 畜産物フェアを3回開催

新潟県競馬のファンサービスと畜産物の消費拡大を目的に実施している「畜産物フェア」を平成12年は4月29日、8月12日、9月15日の3回開催し、県内産ヨーグルト、牛乳、ソーセージ、温泉卵等の畜産物をスピードクジによる抽選で無料配布しました。

特に、学校が夏休み期間中の8月12日には競馬場内において、子供を対象とした「ザリガニ釣り」のイベントを実施し、最近はあまり見られなくなったザリガニを相手に親子で奮闘しました。



畜産物フェア会場にて(新潟競馬場)

第2回

## 新潟県協同組合まつりの開催

「生産と消費を結ぶ虹のかけ橋」をテーマとして第2回新潟県協同組合まつりが10月15日(日)に新潟市産業振興センターで開催されました。

このまつりは新潟県協同組合間提携推進協議会(10団体加盟)が主催しているもので、本協会もこの趣旨に賛同し昨年より参加しています。

当日は、好天にも恵まれ、新鮮な農林水産物や地域特産物の即売、趣向を凝らした様々なイベントが行われ、約15,000人が来場し賑わいました。

本協会では県内13カ所の農協・畜産農家に御協力を頂き、「県内産袋詰め堆肥展示コーナー」を設けてPRを行い、消費者の畜産に対する認識を深めた他、新潟県競馬組合主催の「朱鷺大賞典レース名当てクイズ」の実施、県競馬PR用の花の種・ポケットティッシュの無料配布を行いました。

平成12年度

## 畜産経営改善研修会を終了して

畜産協会は、関係機関・団体と協力しながら畜産特別資金融資機関、資金借入経営体に対して、畜産特別資金指導事業を実施しております。

先般、JA新潟中央会との共催で、この事業の一環として畜産経営改善研修会を去る10月19日新潟市で開催したところ、関係者70余名の参加を頂き、好評の中で終了いたしました。

研修会は、講演会方式で行い、講師と講演内容は次のとおりでした。

## I 話題提供

「本県における畜産経営の展望について」

新潟県畜産課長 帷子 功 様

最初に新潟県の畜産の現状と課題について話をされた後、平成12年度4つの主要施策の概要について話をされております。

1. 高品質畜産物生産の推進
2. 粗飼料自給率の向上
3. 家畜排せつ物の適正な管理と利用推進
4. 安全な畜産物の流通販売体制の確立

## II 優良実践報告

「JA菊池における畜産経営改善対策の取り組みについて」

熊本県JA菊池地域 畜産部長 緒方 重久 様

平成元年に合併し大型化したJA菊池地域は、JAの販売額の66%を畜産が占めており、畜産農家の経営がJAの経営を左右すると言っても過言では無くその積極的な対応は目を見張るものがあります。

◎畜産農家管理体制

- (1) 高額の資金を利用する畜産事業に対し
  - (ア) 肉牛事業の寄託(預託)事業による資金供給
  - (イ) コンピュータによる牛の個体管理
  - (ウ) 出荷分析等のデータ還元
- (2) 生活費圧縮のきっかけとなった平均払い制度
  - (ア) 経営内容に応じた金額の決定
  - (イ) 専用口座残高の徹底通知(月末残高通知)
  - (ウ) 金利の引き下げ等に取り組んでいます。

## III 講演

「農業経営の改善対策とそのポイントについて」  
～経営の発展管理に複式簿記をどう活用するか～

山形大学 教授 楠本 雅弘 様

楠本氏は、農林漁業金融公庫在職中新潟支店に赴任の際、本協会の実施する畜産特別資金指導事業に

ご協力を頂いており講演の要点は、以下のとおりでした。

経営を表すものは、貸借対照表であり、経営改善・経営発展の基となるものです。

経営発展のための目標管理は資金管理が基本であり、複式簿記が基本となります。

1 経営管理とは目標管理

- (1) 経営目標…経営理念、目標、ポリシー、哲学、思い…これらを具体的な係数で表現したもの
- (2) 経営計画…目標達成するための具体的な手順を有機的に組み立てたもの
- (3) 現状を把握…簿記
- (4) 決算書の作成…「こうゆう決算書を作りたい」という意思を反映した決算書
- (5) 経営チェック…年12回行い経営計画実現に努力し毎日、毎週、毎月家族でミーティング
- (6) 次年度経営計画…家族全員で年頭に組み立てて実行していく等がポイントと話されました。

## 畜産環境保全基礎研修会開催される

平成11年11月1日から施行された「家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律」により、今後、地域や個々の農家の状況に応じた取り組みが必至となります。

このような背景の中、去る8月9日、新潟市のハミングプラザVIPにおいて「畜産環境保全指導事業に係る基礎研修会」が開催され、市町村ならびに農協の畜産担当者約70名が参加しました。



第2回JA協同まつりにおいて「畜産環境保全コーナー」

研修内容は次のとおりです。

1. 法律の概要について  
県農林水産部畜産課 遠藤 二郎様
2. 尿処理の基礎について  
県農林水産部経営普及課 増子 正弘様
3. ふん処理の基礎について  
県畜産研究センター環境・飼料課 小柳 渉様
4. 堆肥化処理施設設計計算について  
新潟県畜産協会 支援業務課 谷川 昌行